

甲州市公共施設等個別施設計画に関すること

【所管事務調査最終報告書】

令和5年11月28日

総務文教常任委員会

委員長	小林 真理子	副委員長	中村 勝彦
委員	日向 正	委員	廣瀬 明弘
委員	高畑 一幸	委員	小野 公秀
委員	佐藤 浩美	委員	有賀 公子
委員	荻原 哲也		

目次

報告書

1. はじめに	3
2. 調査事項	3
3. 調査の目的	3
4. 調査について	3
5. 調査結果	7
(1) 本市の現状	7
(2) 現地視察	8
(3) 先進地事例	9
6. 課題	11
7. まとめ	12
8. 提言	13

資料

現地視察報告書	14
---------------	----

報告書

1. はじめに

甲州市議会総務文教常任委員会において、所管事務調査として下記の項目について、調査を行った結果、以下のように報告する。

2. 調査事項

甲州市公共施設等個別施設計画に関することについて

3. 調査目的

甲州市公共施設等個別施設計画に関して、必要な事項を調査する。

4. 調査について

【第1回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年1月19日（木）午前10時 開会

場 所：甲州市内

出席者：委員9人、担当課（財政課、生涯学習課）、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

やまとの杜アリーナ、武田の郷錬成館、祝橋、勝沼氏館跡、ぶどうの国文化館及び大滝山キャンプ場の現地視察を実施した。今後も現地視察を中心に継続調査することを決定した。

【第2回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年1月31日（火）午後1時 開会

場 所：第1委員会室及び甲州市内

出席者：委員9人、財政課長、財政課職員、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

市役所別館及び勤労青少年ホーム（レックセンター）の現地視察を実施し、その後担当課から、公共施設等個別施設計画について、概要説明を聴取し、担当課に対して質疑を行った。

【第3回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年2月15日（水）午後1時30分 開会

場 所：第1委員会室

出席者：委員9人、生涯学習課長、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

1月19日及び1月31日に実施した現地視察を受け、担当課出席のもと質疑を行った。市内に散在する文化財の保管計画について説明を聴取し、現在の保管状況、リスト化、台帳化の状況を確認した。

委員会から「各施設に保管されている文化財について、速やかに仕分を行い、埋蔵文化財の調査研究を行う場所として現在の場所が適切であるかということも含め、検討すること。」また、「ぶどうの国文化館については、時代とともに産業振興が変化していることを鑑み、全庁的にどのように活用していくべきかを検討すること。」以上2点を要望した。

【第4回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年5月9日（火）午後3時50分 開会

場 所：第1委員会室

出席者：議長、委員7人、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

次回開催予定の日程調整及び視察レポート作成担当について協議を行った。

【第5回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年5月29日（月）午前9時30分 開会

場 所：甲州市内

出席者：委員6人、担当課（財政課、子育て福祉推進課、観光商工課、大和支所）、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

大和福祉センター（デイサービス及び田野の湯）、旧大和小学校天目分校、大和教員宿舎、天目山温泉、道の駅甲斐大和、日川溪谷緑の村、甲斐の国大和自然学校、旧大和中学校、旧甲州市大和支所の現地視察を実施した。

【第6回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年6月8日（木）午後3時20分 開会

場 所：第1委員会室

出席者：議長、委員7人、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

前回の現地視察を受け、委員間で意見交換及び次回開催予定の日程調整及び視察レポート作成担当について協議を行った。

【第7回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年6月26日（月）午後1時 開会

場 所：甲州市内

出席者：委員7人、担当課（財政課、子育て福祉推進課、生涯学習課、農林振興課）、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

多目的倉庫、大久保緑の交流館、木工芸館、大久保親水公園、神金保育所、大藤保育所の現地視察を実施し、重要伝統的建造物群上条集落の見学を行った。

【第8回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年9月15日（金）午後1時 開会

場 所：甲州市内

出席者：委員9人、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

これまでの調査内容を踏まえ、委員間で意見交換を行った。

【第9回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年10月11日（水）午後1時 開会

場 所：第一委員会室

出席者：委員9人、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

これまでの調査内容を踏まえ、報告書について委員間で意見交換を行った。

【第10回】

総務文教常任委員会

日 時：令和5年11月2日（木）午後2時 開会

場 所：第一委員会室

出席者：委員9人、財政課、生涯学習課、事務局職員

議 題：公共施設等個別施設計画に関することについて

≪協議内容≫

前回の所管事務調査において委員会で協議した内容を受け、担当課出席のもと質疑を行った。

5. 調査結果

(1) 本市の現状

本市が策定した「公共施設等個別施設計画」は、本市が所有する施設を総合的な観点で捉え、施設の質的改善も踏まえた大規模改修や長寿命化を目指し、改修時期等を設定することで計画的に長寿命化を進め、コストの縮減と平準化を図ることを目的としている。また、その基本方針は、「甲州市公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定）」によるものであり、今後の各施設における市民サービスの維持向上と安全性の確保を前提として、公共施設の縮減面積を最小限に抑えた目標値として「2046年度までに62,000㎡を縮減」を掲げている。

（甲州市公共施設等個別施設計画より抜粋）

① 個別施設計画について

公共施設等総合管理計画は、平成29年3月に策定し令和4年3月に改定が行われた。個別施設計画は、令和2年3月策定され、中間年度となる令和6年度に見直しが行われる予定である。

② 個別施設計画における施設類型別の分類

公共施設の施設類型ごとの分類については、甲州市公共施設等総合管理計画と同様に一般財団法人地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの分類を参考に、甲州市の実態に基づき、以下の通りである。

区分	分類	対象 施設数	対象施設（抜粋）
公共施設	1 集会施設	22	大久保緑の交流館、勤労青少年ホーム等
	2 図書館・博物館・文化施設	9	塩山図書館、重要文化財旧高野家住宅等
	3 スポーツ施設	11	塩山体育館、活性化施設（塩山ふれあい館）等
	4 レクリエーション施設・観光施設	20	木工芸館、森林自然の家等
	5 学校教育系施設	22	塩山南小学校、塩山北小学校等
	6 子育て支援施設	12	松里保育所、塩山南児童センター等
	7 保険・福祉施設	6	障害者地域生活支援センター、勝沼健康福祉センター等
	8 医療施設	3	大藤診療所、落合出張診療所等
	9 公営住宅	38	市営上塩後住宅、市営久保平団地等
	10 庁舎等	13	甲州市役所本庁舎、別館、庁舎別館車庫等
	11 消防施設・水防倉庫等	52	甲州市消防団塩山分団第1部詰所、中萩原水防倉庫等
	12 供給処理施設	2	甲州市環境センター、甲州市環境センター（し尿処理場）
	13 その他施設	53	大久保平親水公園、塩山駅北口トイレ等

③ 直近 10 年で予定される工事内容

環境センター解体事業、レックセンター解体事業、旧別館解体事業、勝沼市民会館、公民館統合事業、勝沼体育館、勤労者体育館統合事業、塩山 B&G 大規模改修事業、勝沼中学校改修事業、勝沼健康福祉センター大規模改修事業、市営住宅水道設備、外壁改修事業、勝沼図書館屋根防水事業である。

これまでに実施された工事は、令和 3 年度に勝沼健康福祉センター大規模改修事業及び環境センター解体事業、令和 4、5 年度に勝沼中学校改修事業、令和 5 年度は勝沼図書館屋根防水事業及び旧別館解体事業が実施された。また、市営住宅の改修等は計画的に行われている。なお、環境センターの跡地活用については、住民アンケートを実施し、その結果を踏まえ公共施設マネジメント推進委員会にて検討が行われた。

(2) 現地視察

委員会では、市内にある公共施設の現地視察を延べ 4 回 23 カ所において実施した。

各施設の概要は以下の通りである。(甲州市公共施設等個別施設計画より抜粋)

施設名称	建設年度	建設経過年数 (年)	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間 内(30 年間)における方針	報告書 ページ
やまとの杜アリーナ	1998/3/27	22	975	廃止	15
武田の郷錬成館	1988/3/25	36	398	廃止	16
勝沼氏館跡	—	—	—	—	17
祝橋	1930	92	橋長 58.6m	—	19
大滝山キャンプ場	1974/11/18	45	134	廃止	20
ぶどうの国文化館	1995/9/1	24	851	廃止	21
甲州市役所別館	1973/5/9	46	897	廃止	22
勤労青少年ホーム (レックセンター)	1973/4/8	46	1,322	廃止	23
大和福祉センター	1999/3/18	21	426	民間譲渡	24
旧大和小学校天目分校	1989/4/1	30	200	廃止	25
大和教員宿舎	1972/3	50	50	—	26
やまと天目山温泉	1994/4/17	25	1028	民間譲渡	27
道の駅甲斐大和	1995/3/27	25	990	民間譲渡	28
日川溪谷緑の村	1983/3/25	37	1,113	民間譲渡	29
甲斐の国大和自然学校	2002/3/27	18	3,138	民間譲渡	30
大和中学校	1983/3/31	37	2,813	市内中学校 6 学区から塩山地域、勝沼・大和地域の 2 学区とし、中学校を 2 校に再編する。	32

甲州市役所大和支所	1978/8/10	41	1,433	廃止	33
多目的倉庫	1979/4/1	40	315	廃止	35
大久保緑の交流館	2002/3/26	18	83	地域移管	36
木工芸館	1991/3/22	29	172	廃止	37
大久保平親水公園	1999/10/2	20	9	廃止	38
神金保育所	1961/4/1	58	469	廃止	39
大藤保育所	1963/4/1	56	383	廃止	40

(3) 先進地事例

マイナス入札を全国で初めて実施した埼玉県深谷市において、令和5年8月9日に行政視察研修を実施した。深谷市の人口は142,003人、面積は138.37 km²である。

① マイナス入札について

マイナス入札の経緯は、適正配置計画に基づき施設の再編を進め廃止するだけで終わりではなく、跡地活用も同時に進めていく必要があった。

老朽化した建物は解体しない限り建物が残り、仮

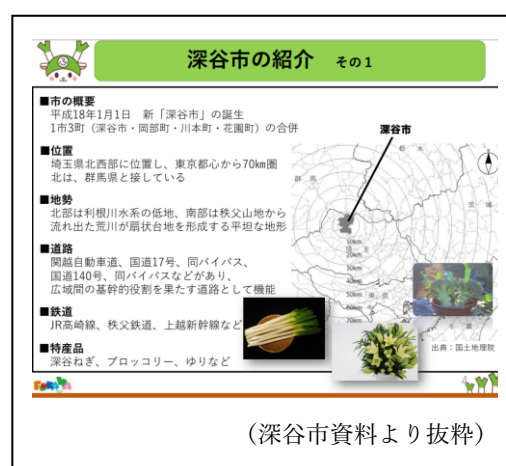
に多額の費用をかけて解体しても立地条件等で必ず売却できるとは限らない。土地の除草や防犯対策などの管理にも費用が発生することから、スピード感をもって土地活用を図る必要があった。

マイナス入札の制度は、建物を解体することを条件とした入札で、建物解体費が土地評価額を上回る場合、その差額を市が負担するという仕組みである。この場合、一つの入札公告で落札結果がプラスになる場合とマイナスになる場合が考えられる。プラスの場合は、一般的な解体条件付き入札であるが、マイナスの場合は建物解体費が土地評価額を上回りその差額が市の負担となる。落札価格がプラスの場合の手続きは、一般的な解体条件付き入札であり、落札後手続きを経て落札者が解体を行う。落札金額がマイナスの場合は、地方自治法第96条第1項第6号で定めている議決事件となり、議決後、仮契約が本契約となり、落札者による解体工事を行い、市が解体確認後、土地所有権移転登記の手続きを進める。

マイナス入札で得られる3つの効果

I. 費用面

直接的な削減効果と市の事務効率化による削減効果がある。民間のノウハウを



活用し解体から開発まで一体的に進めることで、過去の工事実績から算出した概算ではあるものの約5～6割もの解体費の削減につながっている。また、市が解体する場合は、解体に係る設計や工事等の業務が発生するが、その事務が削減され、事務の効率化にもつながっている。

II. 時間的効果

一般的な売却では市が解体工事に係る事務を行い、設計から解体までに2年ほどかかるが、解体条件付き入札では、落札者が自らのスケジュールで解体工事を進められるため工期が短縮される。深谷市においては、旧中瀬小体育館敷地及び旧本郷農業総合センターともに、本契約から約3カ月で更地になった。

III. プラスαのメリット

土地活用が前提の応札であり、未利用の市有地が速やかに活用され財源確保につながる。市が解体した場合、多額の解体費用を支払ってもその後売却できるかわからないという問題がある上に、維持管理に費用が発生してしまう。

具体例として、全国初のマイナス入札となった物件「旧中瀬小体育館敷地」は昭和54年に建設され昭和59年の統廃合により廃校になり、その後は地域住民が体育館を使用していた。平成5年には、近くに体育館を併設したふるさと公民館が建設され、平成22年に老朽化を理由に閉鎖した施設である。都市計画区域外に立地し、建物建設の自由度が高い区域であった。平成27年、29年に建物活用型で入札公告を実施するも応札者なし。老朽化が著しく進行しているためマイナス入札の対象とし、平成29年から準備を始めた。

② 入札以外の取り組みについて

- ・プロポーザル方式で解体条件付き売却
- ・新設施設における複合化
- ・旧花園保育園の貸付
- ・旧教育庁舎を商工会議所へ無償譲渡
- ・トライアル・サウンディング
- ・市有地の売却
- ・公用車の売却
- ・土地建物貸付
- ・公共施設適正配置啓発資料作成



その他の取組

■主なもの

- ・第2庁舎の売却（プロポーザル方式）
- ・新設施設における複合化の実現（公民館、総合支所の複合化）
- ・旧花園保健センターの貸付（民間保育園として活用）
- ・旧教育庁舎の無償譲渡（商工会議所事務所として活用）
- ・深谷駅市民サービスセンター（トライアル・サウンディング）
- ・市有地売却（一般競争入札、インターネットを活用した入札）
- ・公用車売却（埼玉県電子入札システム、インターネットを活用した入札）
- ・土地・建物貸付（広告看板設置）
- ・公共施設適正配置啓発資料の作成（市民啓発マンガ作成、職員啓発資料作成）

40

（深谷市資料より抜粋）

6. 課題

担当課からの説明の聴取、現地視察及び先進地事例行政視察を実施し、委員会にて意見交換を実施した。委員からは下記の通り課題が挙げられた。

(1) 公共施設について

- ・現地視察において、施設を所管する担当課から説明を受けたが、管理をしているという意識を感じられない施設もあった。
- ・現地視察をした結果、当局で状況把握はしていても、手を付けることができない状態の施設が数多くあり、普通財産の中にも課題がある。
- ・合併後から公共施設においては、ほとんど手付かずの状態である。将来の財政を鑑みると積極的に公共施設の整理を進めるべきである。個別施設計画では直近 10 年で予定されている工事の記載はあるが、ようやく別館の解体工事を進めているようでは遅いのではないだろうか。
- ・廃止としている施設をすぐに解体することが財政負担になることは理解できるが、このまま活用せずに施設を管理し続けることはマイナス財産になる。
- ・大和自然学校は、アリーナや錬成館、温泉施設までのアクセスも良く、利用者も多くあり、拠点となる施設の方向性が定まっていない。予約するお客様もいることから、いま稼働している施設については強く提言していく必要がある。
- ・旧大和中学校は、地域の方の提案等もあり、進んでいることもあるので、動向を見る必要がある。
- ・光熱水費、警備等の管理維持費がかかり続けている。令和 4 年度の実績では、市役所別館において令和 4 年 12 月までの水光熱費が 32 万円余であり、レックセンターにおいては、維持管理費用は発生していない。現業職員が管理を行っている。
- ・解体費用は年々上昇していくことが予測され、先延ばしにすれば財政負担が大きくなる。
- ・地域から利用したいという申し出があっても、用途廃止をしていない点、耐震性に問題がある点などの理由により、民間譲渡することができない施設もある。
- ・大滝山キャンプ場については、令和 6 年度末に 10 年の借地契約期間が満了するが、地権者が法務局の情報では林野庁となっているが、林野庁から菱山古宮神社へ払い下げたという情報もあり、地権者と更新しない場合の相談ができていない。平成 30 年の利用以降、利用実績はなく施設の老朽化が著しい。

(2) 備品について

- ・今後廃止とされている施設に多くの備品が保管されているが、どのような判断基準で保管されているのか疑問であり、保管状態についても良いとは言えない。

- ・備品はすべて台帳化されているものと考えていたが、そうとは言い切れない。
- ・各課で保管している備品台帳が整っているのか。また使用していない備品や不用品を全庁的に共有できるようになったのか。

(3) 文化財について

- ・文化財が、市役所別館やぶどうの国文化館、多目的倉庫及び旧深沢分校に保管されているが、何が保管されているか台帳化されていないものもある。どのような判断基準で保管されているのか疑問であり、保管状態についても良いとは言えない。文化財にしたのであれば、適切に管理を行うべきである。
- ・保管されている文化財については、明確な判断基準を設けた上で、必要不要の判断をすべきではないか。
- ・除却対象施設に保管されているものもあり、今後保管計画を立てる必要がある。

7. まとめ

- ・公共施設等個別施設計画に関する所管事務調査において、現地視察を実施したところ、備品や文化財の保管状態についても課題があることが判明した。
- ・市内各所に保管されている文化財については、所管事務調査での指摘を受け、所管課で仕分け整理が始まった。ぶどうの国文化館に保管されていた登録有形民俗文化財は勤労青少年ホーム体育館へと保管場所を変えた。しかしながら、勤労青少年ホームは除却対象施設であるため、いずれ適切な保管場所を確保する必要がある。文化財の台帳化を進め、保管計画を立てていかなければならない。
- ・各施設に保管されている備品については、施設を利用していた当時のままの状態のものがあつた。まだ使用できるものもあり、担当課だけではなく庁内で情報共有の必要性を感じた。
- ・施設を所管する担当課は管理をしているというが、管理されていない状態も確認されたことは看過できない。
- ・将来の財政負担という観点から、個別施設計画に基づき積極的に公共施設の整理を進めるべきである。
- ・毎年、施設の維持管理に費用がかかっているものもある。解体を先延ばしにすることで、解体費用も年々上昇し、さらなる財政負担が懸念される。また、民間譲渡が可能な施設においては、まず用途廃止をしなければならない。

当委員会で調査した限りにおいて、以下に提言する。

8. 提言

【公共施設】

・甲州市が保有する公共施設等は、合併前の３市町村から引継いでいることから、施設機能や整備時期が似通った施設等を多く保有している。合併後、手付かずのものもあり、未利用の公共施設等については積極的に面積を減らすなど取り組みを進めるべきである。財源確保も課題の一つであり、売却する場合は解体せずとも譲渡している先進地事例も多くあることから、さらに研究を進め、本市でも積極的に検討すること。

・廃止とされている施設については、個々の施設の状況に合わせて、丁寧に市民と合意形成を図るために、十分な話し合いを持つこと。

・施設によっては、所管課の管理に問題があるため管理体制を考え直すべきである。

・公共施設、備品及び文化財の有効活用については、当委員会が先進地として例を挙げた深谷市のように、あらゆる手段を研究し実行していくこと。また、今後は自分事として考え、適切に管理し有効活用を図ること。

【備品】

・施設に保管されている備品が管理できているかを調査し、できていない場合はなぜできていないのか調査すること。また、各課で管理している備品については、必要不要を判断し、庁内全体で共有できるシステムを作り、流用や売却などの有効活用を積極的に図ること。

【文化財】

・保管されている文化財については、初めに台帳を作成し明確な判断基準を設けた上で必要不要を判断すること。そして、展示するものは展示し、保管すべきものはしっかり保管する、廃棄するものは廃棄または譲渡も検討すること。その際は、専門的な知識が必要であることから、人員確保も含めスケジュールをしっかりと立て進めること。

以上

資 料

－ 現地視察報告書 －

やまとの杜アリーナ	15
武田の郷錬成館.....	16
勝沼氏館跡.....	17
祝橋.....	19
大滝山キャンプ場.....	20
ぶどうの国文化館.....	21
甲州市役所別館.....	22
勤労青少年ホーム（レックセンター）	23
大和福祉センター.....	24
旧大和小学校天目分校.....	25
大和教員宿舎	26
やまと天目山温泉.....	27
道の駅甲斐大和.....	28
日川溪谷緑の村.....	29
甲斐の国大和自然学校.....	30
旧大和中学校	32
甲州市役所大和支所	33
多目的倉庫.....	35
大久保緑の交流館.....	36
木工芸館	37
大久保平親水公園.....	38
神金保育所.....	39
大藤保育所.....	40

総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年1月19日

記録者 有賀 公子

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
やまとの杜アリーナ	1998/3/27	22	975	廃止

1. 所在地

- ・大和町日影 1080

2. 所管課

- ・生涯学習課

3. 現在の活用状況

- ・今現在は、コロナ禍により、利用はほとんどない
- ・以前はバトミントン・ミニバスなどに利用されていた。
- ・グラウンドが利用出来ない雨天の時などに、自然学校の方々の利用もあった。

4. 今後の方針

- ・一階に日影地区の、地区公民館がある。
- ・災害時の地域避難所としても指定されている。
- ・年に2回の点検も実施されているので、安心でもあり、とても綺麗に使われている。

5. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年1月19日

記録者 中村 勝彦

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
武田の郷錬成館	1988/3/25	36	398	廃止

1. 所在地

- ・大和町田野397番地3

2. 所管課

- ・生涯学習課

3. 現在の活用状況

- ・管理費 20万／年 修繕を必要とする箇所は特になし。
- ・大和自然学校の利用者が主に使っている。(主に市外利用者)
- ・市民はバドミントンクラブや、消防訓練等で活用している

4. 今後の方針

- ・現在と同じように活用していく

5. その他

- ・議員からの意見

修繕の必要もなく綺麗で良い施設なので、積極的に多くの方に知って頂き、活用を促す事が課題だ。
イベント時など、この施設を活用できないか。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年1月19日

記録者 荻原 哲也

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
勝沼氏館跡				計画に該当なし

1. 所在地

- ・勝沼町上岩崎

2. 所管課

- ・生涯学習課

3. 現在の活用状況

- ・史跡に関する案内看板を複数設置して建物の痕跡や歴史的意味について解説している。
- ・実際に古い建物が建っているわけではなく見た目には地味な館跡地のため、観光での活用は難しい。
- ・イベントの会場として使用したことが複数回あるが、定期的な利活用には至っていない。
- ・家臣屋敷の再現建物は屋根の破損のため活用できていない。

4. 今後の方針

- ・家臣屋敷の再現建物の屋根破損を修繕するため、文化庁の補助事業の活用も視野に検討する。
- ・イベント会場等としての利用申請があればその都度対応する。

5. その他

- ・史跡であるという価値を生かした活用が望まれる。
- ・ヴェスタ甲州のプログラムの1つとして、勝沼氏館跡を実際に訪れて解説を聞くという「史跡を歩いて知る」活動が実施可能なのではないか。

※その場合近くにある祝橋も併せて訪れることが出来る。

- ・より多くの人に史跡であることを知ってもらうために、「史跡マルシェ」やマルシェ当日の「史跡ガイド」等のイベントも実施可能なのではないか。

※史跡マルシェ：各出店者の店舗前に史跡を紹介するボードを掲出したマルシェ。買い物の待ち時間に勝沼氏館跡に詳しくなれる。ボードは一度作成すれば2回目以降は使いまわせる。

※史跡ガイド：マルシェ当日に来場者対象にガイドウォークを実施する。NPO団体「甲州おもてなし忍者三ツ者衆」（忍者のコスプレ姿で甲州市を中心に歴史案内や観光案内を実施している）との連携も可能ではないか。

- ・家臣屋敷の再現建物の屋根については早急な修繕が必要。

※史跡マルシェ出店料を取れば修繕費用に充てられるのではないか。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年1月19日

記録者 荻原 哲也

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
祝橋	昭和5年	92	橋長 58.6m	計画に該当なし

1. 所在地

- ・勝沼町勝沼・上岩崎

2. 所管課

- ・建設課

3. 現在の活用状況

- ・歩道として利用可能な状態であるが、実際には近くに新しく架けられた新祝橋が利用されることが多く、活用されているとは言い難い。

4. 今後の方針

- ・利活用促進の具体的な計画はない。
- ・今後も国の有形文化財としての保存及び歩道としての利用を継続する。

5. その他

- ・自然と調和した景観や橋体そのものの美しさに注目した活用が可能。
- ・ドラマや映画のロケ地、ポスターや写真の撮影地として十分に魅力があると思う。
- ・「富士の国やまなしフィルム・コミッション」では、ロケ地に活用できる様々な場所が登録されており、ロケ地を探している人が山梨県内でロケできる場所を簡単に検索できるようになっている。
- ・まずはフィルム・コミッションに登録し、ロケ地として広報していくとよいのではないかな。

※フィルム・コミッションに祝橋の登録はない（1/24現在）。

富士の国やまなしフィルム・コミッションHP <https://www.yamanashi-kankou.jp/fc/index.html>

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年1月19日

記録者 廣瀬 明弘

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
大滝山キャンプ場	1974/11/18	45	134	廃止

1. 所在地

- ・甲州市勝沼町菱山 5481

2. 所管課

- ・生涯学習課

3. 現在の活用状況

- ・令和元年、新型コロナウイルス感染症前まで利用していたが今は鳥獣が利用している。
- ・土地、大滝山との契約 10年間（平成37年3月31日契約期限）、5万円/年
- ・電気代 1,320円/年

4. 今後の方針

廃止を基本に考える。

- ・令和7年3月31日契約期限が満了となるので契約終了とする。原状復帰で返す事になる。
- ・契約終了3か月前に菱山古宮神社総代長に申し入れを行う（自動更新となってしまう）。
- ・原状復帰の取壊し等の見積り依頼する。

5. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年1月19日

記録者 佐藤 浩美

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
ぶどうの国文化館	1995/9/1	24	851	廃止

1. 所在地

- ・甲州市勝沼町下岩崎 1034

2. 所管課

- ・生涯学習課

3. 現在の活用状況

- ・観光客向けに蠟人形館があるが、分かりやすいがゆえに1度見れば十分であり、リピートして訪れる人はいないと思われる。
- ・図書館の職員が、ブドウ・ワインにかかわる資料などの展示を工夫してくれているが、入館者は多くない。
- ・資料室・事務室に、市内各地から収集したたくさんの文化財（農機具・看板など）で埋め尽くされており、施設の利用法としては問題があるのではないかな。
- ・図書館職員が管理しているため開館日を限定（夏場は木・金・土・日・月、冬場は土日のみ開館）。

4. 今後の方針

- ・わだつみ文庫を移転する話もあるようだが現実的には？
- ・市の総合管理計画では「廃止」の方針であるが、特異な構造の施設であり別な活用法は難しい。

5. その他

- ・祝小学校の前、勝沼図書館併設？という立地から考えて、岩崎地区の地域の方とも意見を交換しながら、有効な活用法を考えてゆく必要があるのではないかな。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年1月31日

記録者 小野 公秀

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
甲州市役所別館	1973/5/9	46	897	廃止

1. 所在地

- ・甲州市塩山上於曾

2. 所管課

- ・財政課

3. 現在の活用状況

- ・物置

4. 今後の方針

- ・売却

5. その他

(不動産会社等と広く提携して売却,スピード感をもち進める)

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和 5 年 1 月 31 日

記録者 小林 真理子

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延 床 面 積 (㎡)	総合管理計画期間内(30 年間) における方針
勤労青少年ホーム（レック センター）	1973/4/8	46	1,322	廃止

1. 所在地

- ・甲州市塩山下於曾 1704 番地 1

2. 所管課

- ・財政課

3. 現在の活用状況

- ・耐震強度を満たすことができないため、平成 31 年 3 月から建物と体育館は閉館した。
- ・体育館は、大和中学校の閉校に伴い、不要となった備品を市内小中学校へ譲渡する際に使用。また、現在は、大規模改造工事中の勝沼中学校の備品を保管している。
- ・テニスコート、レストルームおよび駐車場は生涯学習課で管理を行っている。

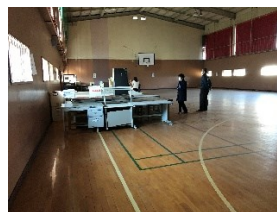
4. 今後の方針

- ・用途を廃止したことから、今後は除却に向けて建物の解体し売却していく。
- ・体育館については、倉庫として使用することも考えているが、解体の場合は建物と併せて行う。

5. その他

- ・駐車場北側のブロック塀が傾いており、危険である。
- ・観光商工課が管理している三脚が固定されていない。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年5月29日

記録者 日向 正

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
大和福祉センター	1999/3/18	21	426	民間譲渡

1. 所在地

- ・甲州市大和町田野77

2. 所管課

- ・子育て福祉推進課

3. 現在の活用状況

- ・デイサービスは「やさしい手」による指定管理。維持管理費9,300千円／年

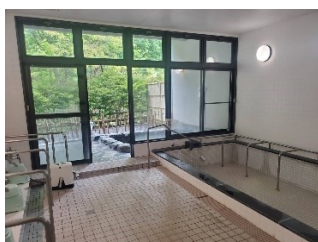
4. 今後の方針

- ・2024年3月に1階温泉施設「田野の湯」は営業中止。
- ・2階デイサービスは「やさしい手」指定管理は継続。

5. その他

2階のデイサービスでは、20人位の高齢者が塗り絵などをしながら、おしゃべりを楽しんでいます。1階の「田野の湯」はメンテナンス工事のため、お休みでした。こちらは来年3月に閉鎖予定で、2階のデイサービスだけの営業となる予定とのことです。デイサービスも、住宅地から離れているため、利用者は減少傾向ですが、「やさしい手」による指定管理の型式で、営業は継続されます。豊かな自然に囲まれた素晴らしい環境だとは思いますが、高齢者にとって、住居から近いこと、人との繋がりがあることなどが重要なのではないのでしょうか。温泉もあり、随分、お金をかけてつくられた施設ですが、時の流れで経営が厳しくなっていく傾向はこれから、さらに加速されていきます。時代を先取りして、施設の閉鎖を進める必要を痛感しました。営業を継続するとしているデイサービス施設を、大和中学校に移転して営業することを提案します。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和 5 年 5 月 29 日

記録者 小林 真理子

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延 床 面 積 (㎡)	総合管理計画期間内(30 年間) における方針
旧大和小学校天目分校	1989/4/1	30	200	廃止

1. 所在地

- ・甲州市大和町木賊 119

2. 所管課

- ・財政課

3. 現在の活用状況

- ・地元の集会場として活用されているが、地域の方がどの程度、使用しているか把握していない。
- ・H13 年に休校し、H22 年 10 月に用途廃止された。
- ・休校となったあと、旧大和村の頃から地域の方が使用していると思われる。
- ・一部の部屋は防災倉庫として、災害備蓄品が保管されている。

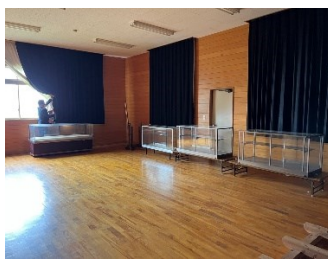
4. 今後の方針

- ・所管課もなく、建物の底地に課題もある。(建物への道、底地の一部が市のもので、他は寺が所有)

5. その他

- ・普通財産となっていることから、修繕等が必要になった場合、どのような対応になるのか不明。
- ・学校として使用されていたころの備品もそのまま保管されている。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年5月29日

記録者 中村 勝彦

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
大和教員宿舎	1972年3月	50	50	－

1. 所管課

- ・財政課

2. 現在の状況

周辺の草刈りのみ行っている

建屋内は老朽化が進み、人が乗ると床はぬけそうであった。

玄関に入ると青く苔も生えていた。

3. 今後の方針

- ・未定であるが現況の評価をしていく

4. その他（意見）

このまま無計画に放置されている状況は危険である。

将来に課題を残さぬように早期に解体の計画を立てていくべきである。

5. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年5月29日

記録者 廣瀬 明弘

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
やまと天目山温泉	1994/4/17	25	1028	民間譲渡

1. 所在地

- ・大和町木賊 517

2. 所管課

- ・観光商工課

3. 現在の活用状況

- ・温泉施設として市民より大菩薩登山者や近県の方の利用者が多い。
- ・平成18年から指定管理者制度を導入。
- ・コロナウイルス感染症の関係で利用者の伸び悩みがある。

4. 今後の方針

- ・建物・施設の老朽化が進んでいる。
- ・本施設の現状や利用状況など活用方法の検討と民間譲渡に向けての調査が必要である。

5. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年5月29日

記録者 有賀 公子

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
道の駅甲斐大和	1995/3/27	25	990	民間譲渡

1. 所在地

- ・甲州市大和町初鹿野2248

2. 所管課

- ・観光商工課

3. 現在の活用状況

- ・24時間利用可能な駐車場とトイレ完備。
- ・蕎麦屋は昨年から法人化し「風のとまりぎ」に委託している。
- ・【蕎麦切り発祥の地】として、地産地消のため神金地域で栽培の蕎麦を使用している。
- ・売店、軽食コーナー、加工場ともに照明はLED化を進めている。
- ・特産品であるうらじろまんじゅうは、とても手間がかかるが人気商品であるので、朝早くから手作業で作っている。

4. 今後の方針

- ・加工場の下の場所については、ペットフード等を作ることも考えている。
- ・新・笹子トンネルの状況によっては、様々な状況の中で変化もあると考えている。

5. その他

- ・うらじろまんじゅうの原料となる高山植物のオヤマボクチは、1kg当たり¥1000で買っている
- ・240個のうらじろまんじゅうをつくるのに、500g必要となる。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年5月29日

記録者 佐藤 浩美

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
日川溪谷緑の村	1983/3/25	37	1,113	民間譲渡

1. 所在地

- ・甲州市大和町田野3

2. 所管課

- ・観光商工課

3. 現在の活用状況

- ・H18年から指定管理。現在5期目(R1～R5)栄和交通が天目山温泉と一緒に管理(冬場は休止するので、その間従業員は天目山温泉にて雇用)
- ・テニスコート2面は現在休止
- ・バンガロー13棟のうち歪んでいるものあり、現在5,6棟を使用している。
- ・天目庵(和食)、売店
- ・釣り堀、池3つ、堀8つ。その下でつかみ取り
- ・バーベキュー場(150人前後使用可能)
- ・4/1～11/30まで営業
- ・GWやお盆にピーク。
- ・年間7000～10000人来場あり

4. 今後の方針

- ・譲渡に向けて調査を山梨総研に依頼。天目山温泉と合わせて、6月の検討委員会にかけ、検討を進める予定

5. その他

- ・バンガローの利用は多くない。
- ・キャンピングカーのテントサイトを考える必要あるのではないか。現在使用していないテニスコートのある場所を利用したらいいのではないか。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和 5 年 5 月 29 日

記録者 小林 真理子

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延 床 面 積 (㎡)	総合管理計画期間内(30 年間) における方針
甲斐の国大和自然学校	2002/3/27	18	3,138	民間譲渡

1. 所在地

- ・甲州市大和町田野 1 1 6

2. 所管課

- ・観光商工課

3. 現在の活用状況

- ・H18 年から指定管理者制度を導入し 5 期目。現在は、株式会社フィッツ（3 期目）
- ・本館（事務所）、体験館、宿泊棟の 3 棟。以前、東電が使用していた施設で、補助金を活用して観光施設にしたものである。
- ・平日は林間学校等で市内小学校や近隣市町村の学校団体が利用。7～8 月は東京からの予約もある。学校単位で貸し切り利用ができることから、特別支援学校の利用もある。
- ・月 1～2 回、小学生向けキャンプを実施。
- ・4 月～10 月頃までは繁忙期。休業期間はなく、閑散期には、施設の修繕や管理等を行っている。
- ・陶芸や工作、調理室ではほうとう作りをしたり、屋外にテントを張る場所もあるが、雨の日には体験館にテントを張り宿泊したり、屋外には職員手作りのピザ窯もあり、様々な体験ができる。

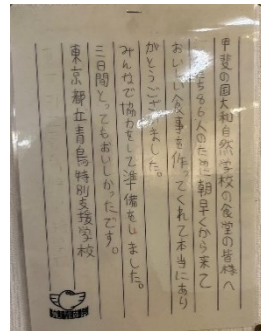
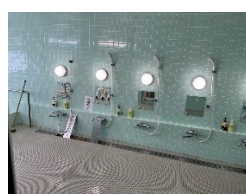
4. 今後の方針

- ・公共施設検討委員会で協議をしていくことになるが、R5 年度末に指定管理期間終了後は、指定管理者制度を継続しない方向である。
- ・施設の老朽化が著しく、R3 年度には受水槽の修繕が必要になり 2400 万円程度の工事を予算計上しようとしたが、認められなかった。そのため、修繕せずに現在も使用を続けている。
- ・修繕が必要であることは庁内協議で報告済であるが、今後は譲渡に向けて何ができるか検討をする。
- ・地域の方へ説明をし、8 月までには指定管理者制度を継続するかしないか、はっきりさせる。

5. その他

- ・指定管理者制度を継続するか否かがはっきりしていないため、諸々の問題が生じている。
- ① 来年度の予約申込があっても、受付けることができず苦慮している。
- ② 体験館 1 階のエアコンが、今年に入り故障していることが判明したが、修理をしてもらえず、工場扇 4 台を市から借り受け、それに対応する。
- ③ 受水槽がいつ使えなくなるかわからない中で運営をしている。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和 5 年 5 月 29 日

記録者 廣瀬 明弘

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延 床 面 積 (㎡)	総合管理計画期間内(30 年間) における方針
旧大和中学校	1983/3/31	37	2,813	市内中学校 6 学区から塩山地域、勝沼・大和地域の 2 学区とし、中学校を 2 校に再編する。

1. 所在地

- ・大和町初鹿野 1643

2. 所管課

- ・財政課

3. 現在の活用状況

- ・令和 4 年 4 月 1 日勝沼中学校へ統合

4. 今後の方針

- ・地元から活用の要望が出されている。
- ・計画書を提出してもらい賃貸条件が整えば 6 月中には活用される方向に進む。

5. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年5月29日

記録者 中村 勝彦

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内 (30年間)における方針
甲州市役所大和支所	1978/8/10	41	1,433	廃止

1. 所管課

- ・財政課

2. 現在の活用状況

- ・一部倉庫として活用。地下には長期保存資料も保管されている。
- ・一部雨漏りも確認された。

3. 今後の方針

- ・現在と同じように活用していく
- ・廃止、除却の計画を今から検討していく。

4. 意見等

- ・議員からの質問

Q、建物の状況はどうか。

A、雨漏り等もある

Q、アンテナの移設、倉庫の資料の移動の考えは

A、決まっていない

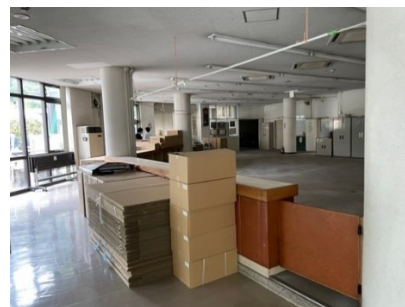
- ・意見

- ・物品や、資材や資料の保管場所の確保等に課題があります。

・庁舎機能を移転した旧大和庁舎や甲州市役所別館など空き施設の除却に関しても課題となっています。

以上の2点は『公共施設等総合管理計画』中『現状や課題に対する基本的な認識』に記載されている内容である。計画の検討、保管されている資料移転計画、備品等の有効活用を早期に考えていく必要があるのではないか。

5. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年6月26日

記録者 中村 勝彦

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
多目的倉庫	1979/4/1	40	315	廃止

1. 所在地

- ・甲州市塩山上萩原2881-1

2. 所管課

- ・財政課（生涯学習課と契約中）

3. 現在の活用状況

- ・生涯学習課と契約し、宮光園からの物品の保管庫となっている。
（H18年より5年更新、直近はR3~R8）
- ・文化財・その他の物品が混在している。
- ・毎年周辺の草刈りをしている。

4. 今後の方針

- ・生涯学習課の方針を待っている状況である。

5. その他

- ・議員からの意見
生涯学習課の方針は早めに出すべきである。
文化的価値のあるものはしっかり保管する必要がある。
価値のないものは処分をすることが可能か？
仕分けが出来るように、学芸員は必要ではないか

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年6月19日

記録者 廣瀬 明弘

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
大久保緑の交流館	2002/3/26	18	83	地域移管

1. 所在地

- ・塩山上萩原 4975

2. 所管課

- ・農林振興課

3. 現在の活用状況

- ・大久保地域の公民館として利用している。
- ・イベントでの貸し出しにも応じている。

4. 今後の方針

- ・将来の活用について地域の方と話はしていない。

5. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年6月26日

記録者 日向 正

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
木工芸館	1991/3/22	29	172	廃止

1. 所在地

- ・甲州市塩山上萩原 4975

2. 所管課

- ・農林振興課

3. 現在の活用状況

- ・ゴールデンウィーク、夏休み期間
- ・専門木工技術者が指導援助
- ・維持管理費 600 千円/年

4. 今後の方針

- ・現状のまま

5. その他

・大菩薩嶺からの風と水に育まれた森林の中に静かにたたずむ木工芸館。木に親しみ、木の工作物を作る体験ができる施設として、その目的は有意義だが、人里離れた立地と、子どもの減少で、利活用は減少し、日常生活の中でも、木工芸品を使うことは限られてきており、アートとして、搜索に取り組む人も少ない。自然や、木に親しむことを目的とした施設と、日常生活環境習慣とのギャップは、埋めようのない距離が生まれてしまっている。一方、気候変動が進む中、森林など自然環境への向き合い方が問われている。教育委員会や農林振興課、環境市民団体など、木工芸館の活用を進める政策方針を打ち出す必要がある。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和 5 年 6 月 26 日

記録者 有賀 公子

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延 床 面 積 (㎡)	総合管理計画期間内(30 年間) における方針
大久保平親水公園	1999/10/2	20	9	廃止

1. 所在地

- ・甲州市塩山上萩原 4873

2. 所管課

- ・農林振興課

3. 現在の活用状況

- ・トイレ・駐車場があり、白樺林の中を湧水が流れている。
- ・今は使われていないが、取水口は山の中で、引いてきて田んぼの水田に使用していた。

4. 今後の方針

- ・きれいになっていて素敵な場所だが、人の出入りは感じない。

5. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年6月26日

記録者 小野 公秀

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
神金保育所	1961/4/1	58	469	廃止

1. 所在地

- ・甲州市塩山下小田原

2. 所管課

- ・子育て福祉推進課

3. 現在の活用状況

- ・耐震補強工事が無いままで、地域でコミュニティの場所の確保出来ない。

4. 今後の方針

- ・休園となっているが廃園とし建物を取壊し広場としか使い様がないと思います。

5. その他

- ・不動産会社等と広く提携して売却,スピード感をもち進める。

6. 写真等



総務文教常任委員会視察報告書

視察日 令和5年6月26日

記録者 佐藤 浩美

施設名称	建設年度	建設経過 年数	延床面積 (㎡)	総合管理計画期間内(30年間) における方針
大藤保育所	1963/4/1	56	383	廃止

1. 所在地

- ・甲州市塩山中萩原 355－6

2. 所管課

- ・子育て福祉推進課

3. 現在の活用状況

- ・H27年4月より休園
- ・長い間使われていないため園庭の遊具などはさび付いているが、園舎の中にある調理器具や冷蔵庫、椅子、ピアノ、オルガン、ストーブなど、使えるものが沢山眠っている。

4. 今後の方針

- ・廃止

5. その他

・「休園」であるので、中のものに手を付けられないでいるようだが、このままの状態が経てば、上記の電気製品などまだ使えるものも廃棄処分になる恐れがある。大変もったいないことである。市のほかの場所での再利用や、市民に払い下げ、あるいはメルカリなどで売却も考えて、廃棄物を減らし、ゼロカーボンシティに資することや、僅かであっても市の財政への貢献することを考える必要があるのではないか。

6. 写真等

